

令和2年6月30日

第7期伊達市市民参加推進会議の活動状況について（中間報告）

伊達市市民参加推進会議
会長 亀田 正人

伊達市市民参加推進会議（以下「推進会議」という。）は、平成19年4月1日の伊達市市民参加条例（以下「条例」という。）の施行に伴い、条例第17条の規定に基づき、平成19年6月13日に設置された。以来、第1期から第6期の各2年の任期の活動を経て、現在、第7期となる任期2年の活動を行なっている。本報告は、第7期活動の中間期を迎えるにあたり、その活動状況を報告する。

1 これまでの経過

第6期においては、平成29年度から令和元年度まで延べ8回の会議が開催され、期末に「意見書」という形で総括を行った。同意見書では、市民参加制度の浸透、まちづくり人材登録において若い世代や女性などの登録者の増加、説明会やワークショップなど様々な形式での市民参加の実施回数増加などの改善がみられ、また、パブリックコメントへの丁寧できめ細かな回答など、市民が意見を出しやすい環境も整備されてきたとしている。今後は、市民が理解しやすいような情報提供のあり方を引き続き検討し、改善することで市民参加への意識の高揚を図る必要があると総括している。意見書の要点は次のとおりである。

- (1) 「市民参加制度の市民への浸透」についての一致した理解を確立するため、平成23年度から庁内職員を対象に行われている「市民参加条例研修会」を継続して実施し、市民参加制度の全庁的な浸透に努めていることを高く評価する。今後も研修会を継続して行うことで、庁内における市民参加制度の更なる浸透に努めること。
- (2) 若者や女性の市民参加については、広報やホームページなどでの周知により、まちづくり人材バンクに現在約70名が登録しているが、以前は30代以下の登録者がなく、審議会の委員に若者が登用されていない状況であった。このことにより、若年層をターゲットとしたフェイスブックの活用やポスター設置などにより、30代、40代及び女性の登録者の増加につながったことを推進会議では評価し、市の尽力に感謝したい。今後は、ワークショップの開催や会議の進行役となるファシリテーターの育成を行うなど市民参加がしやすい環境づくりに取り組み、制度の認知度や満足度向上のため、一層の周知・啓発をお願いしたい。
- (3) パブリックコメントにおいては募集時における資料の読みやすさ、意見に対する丁寧な回答やホームページの改善など、わかりやすい形での市民への周知や意見提出者に対するきめ細やかな対応が行われており、推進会議ではこのことを高く評価する。しかし、提出意見が少ない傾向が見られるため、意見募集時の周知・公表については、意見が出やすくなるような配慮・工夫を考えていく必要がある。パブリックコメントはある程度

定着したものと受け止めている。引き続きわかりやすい回答、きめ細かな対応をおこない、パブリックコメントの検証をお願いしたい。

2 第7期活動の中間報告

以上を受けて、第7期推進会議では、市民参加制度をさらに市民へ浸透させるため、パブリックコメントの実施方法や審議会の運用方法において議論すべく、これまで別紙1のと通りの活動を行ってきた。本推進会議の意見を取りまとめるには、なお推移を見守り議論を深める必要があることから、これまでの議論の内容等を以下のとおり報告する。

(1) より活発な市民参加に向けての取組について

広く市民の意見を吸い上げるために、パブリックコメントをはじめ、説明会やアンケートなどその他の市民参加を多く開催し、参加があったことは、参加の周知方法だけではなく、実施結果の公表方法についても工夫・改善を行った結果であり、高く評価できる。

様々な周知方法や情報提供を実施し、多くの市民が参加できるようこれまで配慮・工夫が実施されてきたが、さらに積極的な市民参加を促すために「広報だて」での分かりやすい情報発信を含め、市民参加がしやすくなるような周知方法の工夫やきめ細かな情報提供、市民参加した方の満足度を高めるための取組をお願いしたい。

(2) 女性や若者の市民参加について

市民参加における女性や若者の参加について、ワークショップ、説明会やアンケートにおいて幅広い年齢層をターゲットにした市民参加を実施し、また、パブリックコメントに至るまでにニーズ調査等を実施するなど、市民参加を推進しようとする姿勢と意欲が感じられることは評価できる。

今後も多くの市民が参加できるよう、市民参加しやすくなるように案件に応じてパブリックコメントだけではなく、ワークショップやアンケートなど様々な手法を組み合わせながら取組を進めていく必要がある。また、市民参加制度の認知度向上や積極的な市民参加を促すため、市役所庁内においての市民参加条例研修会をより充実させ、高いレベルでの周知・啓発をお願いしたい。

以上により、本推進会議は、本市における市民参加が適切な方向で実施されていると評価するとともに、若い世代をはじめ全市民がわかりやすく、行政活動に参加しやすい市民参加制度をより充実させていくための取組に期待したい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末から令和2年度にかけて、審議会の開催中止が相次ぐなど市民参加が制限され、停滞してしまった。更なる停滞によって活動を後退させないために、現状に応じてできることから取り組み、工夫して市民参加を推進することを期待する。

■平成30年度 伊達市市民参加推進会議の活動状況

回数	開催日	開催場所	出席者数	議題
第1回	平成30年5月29日	市役所 2階 会議室A	8名	・平成29年度市民参加の実績について ・平成30年度市民参加の実施予定について ・第6期市民参加推進会議中間報告書について
第2回	平成30年6月15日	市役所 2階 会議室A	9名	・第6期市民参加推進会議中間報告書について
第3回	平成31年1月28日	市役所 2階 会議室A	8名	・平成30年度市民参加の実施状況について
第4回	平成31年3月29日	市役所 2階 会議室A	9名	・平成30年度市民参加の実施状況について ・第6期意見書について

■令和元年度 伊達市市民参加推進会議の活動状況

※第7期の委員による市民参加推進会議は第3回からとなります。

回数	開催日	開催場所	出席者数	議題
第1回	令和元年5月17日	市役所 2階 会議室A	9名	・平成30年度市民参加の実績について ・令和元年度市民参加の実施予定について ・第6期意見書について
第2回	令和元年6月14日	市役所 2階 会議室A	9名	・第6期意見書について
第3回	令和元年8月29日	市役所 2階 会議室A	10名	・概要説明について ・令和元年度市民参加実施予定について
第4回	令和2年3月26日	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止		